

第三十八回句会 俳句

【高点句】

- ☆短日やあれこれ思案して暮れて 一馬
- ☆セーターの色と厚みを迷う朝 安津子
- ☆我がセーター着こなす息子旅のフォト 茂
- ☆短日やうたた寝覚めて狼狽す 安津子

【各自一句】

- ・セーターをほどき何編む子に尋ね 撫子
- ・惜敗のラガーや凜とうつむかず 茂
- ・馴染むほどセーター私の型になり 青蛙
- ・木枯らしにゆるむ大地も武者震い 童心
- ・断捨離はできずセーター着ぬままに 安津子
- ・石路咲ゐて人つ子一人見えぬ町 眞澄
- ・こんな日は紅きセーター着る気分 千恵
- ・天狼や湯上りの水ごくごく 明美
- ・国境を越え亡命の黒セーター 莫院
- ・百八段磴を登りて冬紅葉 一馬

*以上、30句(3句ずつ10名)より、選句は10名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句(今回は、第3位が同点で2句)

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による(得点順ではなく、俳句一覧表に

偶然記載された順に掲載)